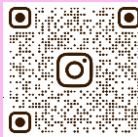
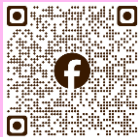




Hello, Hong Kong!

宮崎縣香港事務所通信
2026年3月 vol.23



宮崎牛をもっと食べてもらいたい！

<The American Club 香港に宮崎牛が初登場>

1月に、香港の会員制クラブ The American Club Hong Kong の看板メニューであるハンバーガーの食材に、日本産和牛として初めて“宮崎牛”が採用されました。

“Miyazaki Smash”という名前で期間限定メニューとして提供され、1ヶ月で約350個も注文されるなど会員の皆さんから大変好評でした。

さらに、今回のメニュー採用を記念したイベントが1月30日に開かれ、在香港日本国領事館の三浦大使や同米国領事館のDavid副総領事をはじめ、多くの関係者が出席しました。当日は宮崎牛や都農ワインに加え、アメリカ産牛肉のステーキなどが提供され、食を通じた日米交流の機会となりました。

<天皇誕生日祝賀レセプションでのPR>

2月5日に、在香港日本国総領事館主催による天皇誕生日祝賀レセプションが開催され、多くの香港政府関係者、ビジネス関係者などが来場しました。

会場では日本各地の自治体や団体等がブースを設けてPRを行い、本県は宮崎牛やきんかんの試食、焼酎の試飲を実施しました。

なかでも宮崎ブースは会場内で最も人気を集め、試食開始直後から長蛇の列ができ、最後まで人の流れが途切れることはありませんでした。

来場者に実際に味わっていただくことで、宮崎食材の美味しさや魅力を鮮明に印象づけることができたのではないかと考えています。



宮崎牛を使用したハンバーガー
「Miyazaki Smash」



記念イベントで日米交流



多くの招待客が出席した
レセプション会場



宮崎牛ステーキなどを提供

<飲食店での宮崎牛フェア>

香港の方々に宮崎牛の美味しさをもっと知っていただくため、2月下旬から約1ヶ月間、香港の宮崎牛指定店と連携したプロモーションを実施しました。今回のイベントでは、宮崎牛を使ったオリジナルメニューを準備し、オープニングイベントには、みやざき犬「むうちゃん」も登場！グリーティングを通じて、現地の方々と交流しながら、宮崎県のPRを行いました。

来店された方からは、「とても美味しくまた食べたい」、「口の中できちんととろける」といった嬉しいお声をたくさんいただき、宮崎牛の魅力を感じていただきました。

これからも、宮崎牛をはじめ、本県の食材の魅力を現地で発信していきます。



香港のバーで熱い焼酎泡盛トーク

1月22日～23日、香港に拠点を持つ九州沖縄5県（熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）で結成している焼酎・泡盛プロモーショングループ主催のShochu & Awamori Festivalを香港中環にあるバーGOKANで開催。GOKANは、世界的なバーテンダー後閑信吾氏が監修して2025年にオープンした高級バーで、開業年にも関わらずAsia's 50 Best Barsにも選ばれています。

第1部では、香港のバーテンダー、酒類卸業者、メディア等42名を招待。後閑氏に加え、大分の焼酎メーカー、香港で焼酎泡盛を輸入し飲食店への卸をする傍ら、カクテルコンペなど普及活動もされている業者、若手バーテンダー等、焼酎泡盛に携わる方々によるトークセッション。カクテルベースとしての魅力や、ベースとして使

用する際に気をつけていること、香港市場でさらに普及させていくために必要なこと等、それぞれの立場からプロ目線の熱いトークが繰り広げられました。

トークセッションの後は後閑氏による焼酎カクテル制作のデモンストレーションが行われ、参加したバーテンダーは興味津々。参加者からは、今後、ぜひ焼酎泡盛を使ってみたいという積極的な声がきかれました。

第2部は、5県の焼酎泡盛を使った特別カクテルが販売される一般開放型イベント。本県代表は、柳田酒造「青鹿毛」をスイカの果汁、コーヒーなどで仕上げた独創的かつさわやかなカクテル「Watermelon Coffeezz」。多くの来店客に楽しんでもらいました。



焼酎の作り手から卸業者、カクテルの提供者のそれぞれのプロが熱いトーク



にぎわう店内



企画に参加した5県の焼酎を使ったカクテル

県産きんかんの魅力発信

日本産きんかんは香港スーパーにも数多く並び、季節の味覚として親しまれています。そんな香港で「完熟きんかん たまたま」など県産きんかんのことを知って、そして購入いただくため、様々なプロモーション活動などを行っています。

1月には県内のきんかん生産者が香港を訪れ、市場調査や現地事業者との情報交換を行っていただきました。また、販促活動として、大手ECサイトと連携したネット販売やスイーツ店での商品販売を行ったほか、認知度向上を目的に、若年層向け料理教室でのレシピ提案などを実施しました。今後も、宮崎県産きんかんの魅力をより多くの消費者に感じてもらい、香港市場での存在感を高めていきます。



きんかん生産者による市場調査



料理教室での普及活動



飲茶で一息

まもなく香港での任期が終わろうとしています。始めのうちは翻弄されていた息がつまるような満員電車も、不愛想な茶餐廳の店員も、デザインの違い同額紙幣にもすっかり慣れてしまいました。

広東語がわからないので、地元の方とは「これ」「あれ」くらいしか意思疎通ができない場面も。それでも毎日、毎週顔を合わせて「こいつはどうも日本から来た住人だ」ということが伝わると、なぜかみなさんやさしくして下さいます。出勤すると警備の人が奥の部屋でお茶を入れながらも「早晨(おはよう)」と声をかけてくれたり、昼時顔を見せるだけで注文を取ることなくいつものエビワンタン麺を出してくれたり。

そんな香港の人情味と街の喧騒が、宮崎に帰ったら恋しくなるんだろうな、と考えている今日この頃です。(坂)



Austin Roadに沈む夕日